

# みどりアップQ

緑×まち×未来を考えよう

Vol. 1  
Nov.2014



## Q 横浜みどりアップ計画 ってなに？

緑を守りたい。そんな市民の想いを後押しに生まれた「横浜みどりアップ計画」。計画を支えているのは、私たち市民が年間900円を払っている横浜みどり税です。だからこそ、一緒に考えていきませんか。未来の横浜の緑。

目次 里山を守る／身近な緑／イベント情報／市民推進会議とは

【みどりのイベント情報】

## イベント INFORMATION

### 横浜花き展覧会

市内産の花の品評会、最終日に展示品即売あり。11月28日(金)～11月30日(日)、当日直接環境活動支援センター(バス「児童遊園地前」・「児童遊園地入口」すぐ)へ  
問合せ：環境創造局農業振興課 ☎711-0636

### 林の鳥の巣パトロール隊

鳥の巣を知り、野鳥保護のための作業。①12月14日(日)②27年1月17日(土)午前10時～午後3時(②は2時まで)、全2回、横浜自然観察の森(栄区上郷町)、小学生と保護者抽選で40人  
申込：Eメールかファクス(11月30日必着)に[イベント名と日時、参加者全員の氏名、子の年齢、電話・ファクス番号、本誌で知った旨]を記入し横浜自然観察の森自然観察センター(☎894-7474 fax 894-8892、Eメール yokohama-nc@wbsj.org)へ

### バードウォッチング

27年1月10日(土)午前9時～11時30分、先着20人、舞岡ふるさと村(戸塚区舞岡町)  
申込制：12月20日午前9時から、電話か直接虹の家(☎826-0700 fax 826-0749)へ

### 寺家ふるさと村ガイドツアー

植物を中心としたガイド。27年1月11日(日)午前10時30分～正午、当日直接(午前10時30分までに)四季の家(青葉区寺家町414)へ  
問合せ：寺家ふるさと村「四季の家」☎962-7414 fax 962-6321

### 都筑区自然ふれあいウォーキング

市営地下鉄仲町台駅～茅ヶ崎公園～都筑中央公園～かりん公園～川和富士公園～川和市民の森(約6km)。27年1月24日(土)午前9時～午後1時、先着30人  
申込制：12月11日から、電話かファクスか直接都筑スポーツセンター(☎941-2997 fax 949-0477)へ

## 横浜みどりアップ計画市民推進会議とは

横浜みどり税が財源の一部となっている横浜みどりアップ計画について、評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

座長より

市民推進会議は、みどりアップ計画のすすめ方やみどり税の使われ方を議論しています。しかしそれだけではなく、みどりアップ計画がレベルアップし着実に進むよう、そういった応援団になれるように積極的に活動していければと思います。

進士 五十八 (東京農業大学名誉教授)



9月の調査部会



10月の調査部会

**私達が委員です** 相川健志(公募市民)／相原信行(横浜市内会連合会顧問)／東みちよ(公募市民)／池田信彦(よこはま緑の推進団体連絡協議会会長)／池邊このみ(千葉大学大学院園芸学研究科教授)／大竹斎子(公募市民)／加茂千津子(公募市民)／清水靖枝(長屋門公園管理運営委員会事務局)／(座長)進士五十八(東京農業大学名誉教授)／関水金作(追分・矢指市民の森愛護会会長)／(副座長) 葛谷栄一(株式会社農林中金総合研究所客員研究員)／長瀬里佳(公募市民)／野路幸子(横浜市中心農業委員会委員)／望月正光(関東学院大学経済学部教授)／矢沢定則(横浜農業協同組合常務理事)／若林史郎(横浜商工会議所経済政策部長) 50音順・敬称略

ホームページは [横浜みどりアップ計画市民推進会議](http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/midori-up/midori-up-plan/shiminsuishinkaigi/) で検索

URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midori-up/midori-up-plan/shiminsuishinkaigi/>

### みどりアップQとは

みどりアップQの「Q」は「みどりアップをもっと知る、なぜなに? (クエスチョン)」と、「緑のある暮らしの質(クオリティ)」を考える。市民目線でみどりアップ計画を探っていくレポートです。  
※「濱RYOKU」からリニューアルしました。

### みどりアップ計画を詳しく知りたい方は

みどりアップ計画の計画書・報告書は、環境創造局ホームページ、区役所広報相談係や市庁舎1階市民情報センター、環境創造局政策課、みどりアップ推進課で閲覧できます。  
URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>



### 問合せ 横浜市環境創造局政策課(事務局)

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

☎045-671-4214 fax 045-641-3490

E-mail: [ks-mimiplan@city.yokohama.jp](mailto:ks-mimiplan@city.yokohama.jp)

### みどりアップQ 第1号(旧 濱RYOKU)

(市民推進会議広報誌 第21号) 平成26年11月発行

編集：横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会

発行：横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

# ふるさとの景色、里山を守る。

追分・矢指市民の森愛護会の皆さんを、横浜みどりアップ計画市民推進会議の委員がたずねました。人が適切に手を入れていくことが大切な里山との関わりについて、レポートします。

(取材 加茂千津子 委員)

追分市民の森・矢指市民の森 旭区矢指町にある、約35haの森。植林地や雑木林、田んぼが広がっています。



(左上) 作業の様子 (左下) 谷戸の風景 (右) 愛護会の皆さん、仲間同士の連帯感が森を支えています



子どものころから  
顔なじみ!

## 知らぬ間に消えゆく、横浜の原風景

市民の森に入るとすぐの小さな谷（谷戸）には、なんととも素敵な田園風景が広がっています。ここにある水田が、旭区では最後の田んぼだとか。谷戸の風景が失われてきていることは、残念なことです。

## 手入れをすることでよみがえる森

広葉樹の幹を切り、切り株から出た芽を育てることで、木や森が若返る。手入れしたクヌギに、カブトムシが30匹集まったことも。地面に光が差したことで眠っていた種が発芽し、オケラという花が旭区で30年ぶりに記録されました。色々な種類の生き物がいて、手入れをすることでよみがえる。こんな話を聞くと面白いなあ、とうれしくなります。



オケラの花

## ほっとする憩いの場、花畑

一面に広がる花畑。景観を維持するために、愛護会の女性達が草取りをしています。訪れる方にも、この森がそんな人達に支えられていることを知ってほしい、そう思いました。

## 愛護会と森づくりのリーダー

愛護会と知恵袋の公園緑地事務所の職員が協力し、保全管理計画に基づいて計画的に森づくりをしています。これまでは、下草はすぐに刈っていましたが、職員の提案で下草が成長してから選んで刈った結果、チダケサシ、ツリガネニンジン、ワレモコウなど、貴重な植物がずいぶん増えました。手間が増えた感想を聞いたところ、「そりや大変、でも楽しい」と笑顔で返事が返ってきたのが印象的でした。



## 手作りしたトンボ池に訪れる生き物

山から流れてくる水を利用して愛護会のみなさんが作った、水深の違う3つのトンボ池は、多様な生き物の居場所となり、シュレーゲルアオガエル、クロスジギンヤンマなどが見られます。



トンボ池

## 自然へのやさしいまなざし

この森の所有者でもある、愛護会の皆さん。この地を市民に公開していただいていること、苦勞しながら質の高い森づくりをされていることを知り、そのお陰で森が守られ、私達は楽しませていただいているのだと実感しました。

## 森のこれから

愛護会の皆さんは、毎週末、パトロールと清掃をしています。近頃はゴミが少なくなり、マナーも良くなっているとか。次世代に繋がる後継者も育てています。市民として、お手伝いできることはあるのでしょうか。そんな思いが残りました。



愛護会の方々



横浜みどり税

保全管理計画の策定

## なるほどみどりアップ用語解説

**Q 市民の森制度とは？**  
横浜市独自の緑地を守り育てる制度。2 ha 以上の森林を、市が土地所有者から10年契約し、市民に開放しています。

**Q 市民の森はどのくらいある？**  
現在41か所(約501ha)指定されています(平成26年4月現在)。

**Q 保全管理計画とは？**  
植生や立地環境等の特性に合わせて、森ごとに策定する管理計画。森全体の将来像を愛護会等と共有し、環境に応じた管理エリアごとの目標像と指標となる生物、必要な作業内容等を定めています。

# ひろがる、身近な緑

暮らしの中に緑があることについて、その意味を考えていきたい。身近な緑をつくっている方々をたずねました。

## ふかふかの芝生で、かけて



柏尾スマイル保育園(戸塚区)の園庭芝生化

「五感を育てるため、裸足で芝生を歩くのはいいこと。」と園長先生。園庭を芝生化し、子ども達が日常的に緑に触れています。園庭のない園もある中、こうした環境は貴重です。一方で、芝生の維持は大変。みどりアップ計画では、今年度から維持管理費や、芝生以外の緑も補助の対象になりました。これをきっかけに、多様な緑が増えるのではと、期待が膨らみます。

(取材 長瀬里佳 委員)



横浜みどり税

初期費用・維持管理費の一部

裸足で走りまわっています

## メダカがいる8階屋上庭園



戸塚区総合庁舎の屋上緑化

田んぼや畑、ピオトープが広がる屋上庭園。土は、近隣の田んぼの土をそのまま持ってきているので、色々な植物が育ち、生き物がいて、子どもたちの環境教育の場にもなっています。風が強いので、高さのない植物を選ぶなど工夫が必要です。手入れには、市民ボランティアの方々も携っています。この場所を、もっと多くの方に知ってもらいたいと感じました。

(取材 大竹齋子 委員)



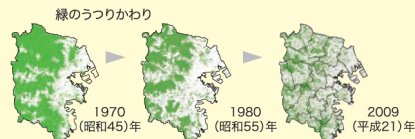
戸塚小学校の稲刈体験



メダカもいるピオトープ

## Q 横浜の緑は減っているの？

A 都市化が進み、横浜の緑は減ってきました。しかし、平成21年度から始まった横浜みどりアップ計画でその減少に歯止めがかかってきています。また、まちの中では、身近な緑がつけられています。



## Q 横浜みどりアップ計画ってなに？

A 緑豊かな環境を将来に残すために、市民のみなさんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。「市民とともに次世代につなぐ森を育む」、「市民が身近に農を感じる場をつくる」、「市民が実感できる緑をつくる」の3つの柱で進んでいます。財源の一部として、市民税の均等割に上乗せされた横浜みどり税が使われています(個人年間900円、法人年間9%)。